

3月定例会で審議を行った新年度予算等

産業建設委員会

議案第1号 平成28年度鈴鹿市一般会計予算

【産業政策課所管】

(1) 燃料電池自動車（FCV）

期 間 平成28年7月～（リース期間5年間）

費 用 毎月リース代金 約130,000円

特 徴 水素を燃料とした自動車であり、フル充填で750km走行でき、市内外問わず幅広く走行できる。また、燃料電池自動車は、災害時に、避難所をまわり、電気を給電することなども可能であり、防災面でも活用が期待できる。

製造者 本田技研工業(株)

その他 水素ステーションについては、平成28年12月以降に設置する予定である。本田技研工業(株)製造の燃料電池自動車の導入は、市内では鈴鹿市役所のみであり、三重県全体でも数台しかない。なお、この自動車は平成28年3月からリース販売が開始されている。



CLARITY FUEL CELL

2015.10.28

(2) 水素ステーション（SHS）ホンダ・岩谷産業

期 間 平成29年1月～

費 用 約135,000千円（環境省が実施する「二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金」に申請して、事業費の3/4補助となる約118,299千円を補助金で補填できる予定である。）

特 徴 市役所内に設置している太陽光発電を電力とし、水道水を高圧水電解システムで、水素と酸素に分解し、水素を製造する。能力としては、3～4日で1台がフル充填できる。現在、国内では数台しか設置されておらず、全国的にも数少ない取り組みである。

製造者 本田技研工業(株)、岩谷産業(株)

設置場所（市役所西ロータリー）



Smart Hydrogen Station

2015.12.25

